

令和8年度の国民健康保険税 税率等の改定について

令和7年度第2回青梅市国民健康保険運営協議会資料

目次

- 1 : 青梅市国民健康保険を取り巻く状況
- 2 : 令和8年度税率改定にむけて

目次

- 1 : 青梅市国民健康保険を取り巻く状況
- 2 : 令和8年度税率改定にむけて現状

1：青梅市国民健康保険を取り巻く状況

様式第1 (その1)

国保財政健全化変更計画書

「国民健康保険保険者の赤字削減・解消計画の策定等について」(平成30年1月29日付保国発0129第2号厚生労働省国民健康保険課長通知)に基づく赤字削減・解消計画

(平成30年度から令和10年度まで11ヵ年計画)

都道府県名	保険者番号	保険者名
東京都	28	青梅市

① 赤字の発生状況	年度(赤字発生年度)	平成28年度		赤字の原因					
	法定外繰入金 ※1	851,836千円		・歳入：保険料の賦課率が低い ・歳出：一人当たり医療費の増、高額療養費の増					
	繰上充用金の新規増加分 ※2	0千円							
	赤字額(合計)	851,836千円							
② 赤字削減計画	赤字削減・解消のための基本方針			赤字削減・解消のための具体的取組内容					
	① 予算推計ベースの平成30年度の赤字額：821,193千円 ② 解消の目標年次：令和10年度(5回改定) ③ 赤字削減・解消手段の主要事項： 保険料率の改定、医療費適正化の取組			保険料率の改定(2年に1回の改定 164,239千円(6.1%))					
	年度別の赤字削減予定額(率) ※3	計画年次	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	合計
		年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		法定外繰入の削減予定額(率)	0 千円(%)	0 千円(%)	164,239 千円(%)	0 千円(%)	164,239 千円(%)	0 千円(%)	328,478 千円(%)
		繰上充用金の新規増加分の削減予定額(率)	0 千円(%)	0 千円(%)	0 千円(%)	0 千円(%)	0 千円(%)	0 千円(%)	0 千円(%)
合計赤字削減予定額(率)		0 千円(%)	0 千円(%)	164,239 千円(%)	0 千円(%)	164,239 千円(%)	0 千円(%)	328,478 千円(%)	

※1 国民健康保険事業の実施状況報告様式5の決算補填等目的の法定外一般会計繰入額の小計額と一致していること。

※2 当該年度の繰上充用(当該年度の歳入が歳出に不足し、翌年度の歳入を繰り上げてこれに充てる)の額と、前年度の繰上充用の額の差引増加分。但し、累積赤字のうち削減・解消された繰上充用金がある場合は、その額を除く。

※3 率の場合は、赤字額又は削減すべき合計額に占める削減予定額の割合を記載する。なお、赤字額がすべて解消される場合には削減率100%とする。

上記のとおり国保財政健全化変更計画書を提出します。

令和6年3月11日

東京都知事 殿

保険者名 青梅市

代表者職氏名 青梅市長 大勢待 利 明

印

1：青梅市国民健康保険を取り巻く状況

様式第1 (その2)

国保財政健全化変更計画書

「国民健康保険保険者の赤字削減・解消計画の策定等について」(平成30年1月29日付保国発0129第2号厚生労働省国民健康保険課長通知)に基づく赤字削減・解消計画

(平成30年度から令和10年度まで11ヵ年計画)

都道府県名	保険者番号	保険者名
東京都	28	青梅市

① 赤字の発生状況	年度(赤字発生年度)	平成28年度		赤字の原因				
	法定外繰入金 ※1	851,836千円		・歳入：保険税の賦課率が低い ・歳出：一人当たり医療費の増、高額療養費の増				
	繰上充用金の新規増加分 ※2	0千円						
	赤字額(合計)	851,836千円						
② 赤字削減計画	赤字削減・解消のための基本方針			赤字削減・解消のための具体的取組内容				
	① 予算推計ベースの平成30年度の赤字額：821,193千円 ② 解消の目標年次：令和10年度(5回改定) ③ 赤字削減・解消手段の主要事項： 保険税率の改定、医療費適正化の取組			保険税率の改定(2年に1回の改定 164,239千円(6.1%))				
	年度別の赤字削減率 ※3	計画年次	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	第11年次	合計
		年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
		法定外繰入の削減予定額(率)	164,239 千円(%)	0 千円(%)	164,239 千円(%)	0 千円(%)	164,239 千円(%)	492,717 千円(%)
		繰上充用金の新規増加分の削減予定額(率)	0 千円(%)	0 千円(%)	0 千円(%)	0 千円(%)	0 千円(%)	0 千円(%)
合計赤字削減予定額(率)		164,239 千円(%)	0 千円(%)	164,239 千円(%)	0 千円(%)	164,239 千円(%)	492,717 千円(%)	

※1 国民健康保険事業の実況報告様式5の決算補填等目的の法定外一般会計繰入額の小計額と一致していること。

※2 当該年度の繰上充用(当年度の歳入が歳出に不足し、翌年度の歳入を繰り上げてこれに充てる)の額と、前年度の繰上充用の額の差引増加分。但し、累積赤字のうち削減・解消された繰上充用金がある場合は、その額を除く。

※3 率の場合は、赤字額又は削減すべき合計額に占める削減予定額の割合を記載する。なお、赤字額がすべて解消される場合には削減率100%とする。

決算補填等目的の繰入金の状況（令和6年度）

保険者名	①被保険者数 (年間平均)	②決算補填等 目的の繰入金	③被保険者 1人当たり額	(参考) ③1人当たり 額が多い順)
	人	円	円	位
府中市	45,747	3,606,522,000	78,836	1
調布市	40,881	2,720,442,000	66,545	2
西東京市	37,178	2,311,380,000	62,171	3
清瀬市	14,264	812,661,000	56,973	4
三鷹市	33,829	1,803,000,000	53,297	5
武蔵野市	25,936	1,358,464,392	52,378	6
小平市	34,446	1,796,981,006	52,168	7
狛江市	14,884	770,000,000	51,733	8
福生市	13,259	682,000,000	51,437	9
日野市	31,081	1,577,898,000	50,767	10
国分寺市	21,333	1,066,868,346	50,010	11
羽村市	10,493	498,535,000	47,511	12
国立市	14,072	648,605,467	46,092	13
多摩市	27,654	1,270,505,546	45,943	14
稲城市	14,867	604,295,880	40,647	15
小金井市	20,721	835,000,000	40,297	16
武蔵村山市	14,328	575,726,000	40,182	17
昭島市	21,265	804,764,000	37,845	18
立川市	33,200	1,254,559,469	37,788	19
東久留米市	21,646	732,000,000	33,817	20
あきる野市	16,350	540,209,000	33,040	21
青梅市	26,775	878,842,000	32,823	22
東村山市	28,832	893,154,226	30,978	23
町田市	76,310	2,299,686,623	30,136	24
東大和市	15,760	123,030,000	7,806	25
八王子市	107,384	610,483,774	5,685	26
26市平均	29,327	1,195,215,913	40,755	

青梅市の保険税率等の経緯

年度	医療分			支援分			介護分			備考
	応能割(%)	応益割(円)	賦課限度額	応能割(%)	応益割(円)	賦課限度額	応能割(%)	応益割(円)	賦課限度額	
	所得割	均等割		所得割	均等割		所得割	均等割		
平成20年	4.50%	20,000	47万円	1.40%	7,800	12万円	1.11%	10,400	9万円	4方式→2方式 0.78%改定
平成21年	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
平成22年	4.80%	22,500	50万円	1.60%	7,500	13万円	1.45%	8,700	10万円	6.50%改定
平成23年	↓	↓	51万円	↓	↓	14万円	↓	↓	12万円	
平成24年	5.10%	24,300	↓	↓	↓	↓	1.55%	9,300	↓	5.00%改定
平成25年	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
平成26年	5.25%	25,300	↓	1.65%	7,800	16万円	1.55%	9,300	14万円	3.00%改定
平成27年	↓	↓	52万円	↓	↓	17万円	↓	↓	16万円	
平成28年	5.35%	26,300	54万円	1.70%	8,900	19万円	↓	↓	↓	3.00%改定
平成29年	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
平成30年	5.70%	26,600	58万円	1.80%	9,600	↓	1.65%	9,800	↓	5.00%改定
令和元年	↓	↓	61万円	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
令和2年	5.80%	29,900	63万円	1.85%	10,200	↓	1.65%	10,500	17万円	6.50%改定
令和3年	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
令和4年	6.00%	30,600	65万円	1.95%	11,200	20万円	1.85%	12,200	↓	6.00%改定
令和5年	↓	↓	↓	↓	↓	22万円	↓	↓	↓	
令和6年	6.25%	33,000	↓	2.07%	12,000	24万円	1.95%	13,100	↓	7.50%改定
令和7年	↓	↓	66万円	↓	↓	26万円	↓	↓	↓	

現行税率と都の標準税率（R8仮算定）

	医療分		支援金分		介護分		こども分		合計	
	所得割	均等割	所得割	均等割	所得割	均等割	所得割	均等割	所得割	均等割
市税率	6.25%	33,000円	2.07%	12,000円	1.95%	13,100円	—	—	10.27%	58,100円
都標準 (R8)	7.45%	46,421円	3.00%	18,574円	2.69%	19,667円	0.28%	1,883円	13.42%	86,545円
	+1.20P	+13,421円	+0.93P	+6,574円	+0.74P	+6,567円	—	—	+3.15	+28,445円

国保財政健全化計画での目標（R10）を達成するためには2回で改定

1回あたりの改定率 ⇒

所得割 **+1.58P** 均等割 **+14,222円**

調定ベース改定率 **+31.4%**

目次

- 1 : 青梅市国民健康保険を取り巻く状況
- 2 : 令和8年度税率改定にむけて

改定に向けた前提と基本的な考え

- 東京都における財源補てん繰入金の解消目標

- ✓ 令和17年度決算（見込）

→令和17年度決算までに、財源補てん繰入金の解消を目指す

- 子ども・子育て支援金

- ✓ 令和8、9、10年度で毎年度改定予定

- ✓ 東京都では標準税率を採用予定

→令和8.9.10年度は既存分（医療分等）についても毎年度改定

改定パターン1

年度	区分等		医療分		支援金分		介護分		子ども分		計		各年度当初予算 調定見込額	現行税率との差	改定率
	所得割	均等割	所得割	均等割	所得割	均等割	所得割	均等割	所得割	均等割	所得割	均等割			
(現行税率)	6.25%	33,000	2.07%	12,000	1.95%	13,100					10.27%	58,100	2,201,813千円	-	-
R8	6.45%	35,300	2.23%	13,100	2.08%	14,200	0.28%	1,883	11.04%	64,483	2,495,058千円	293,245千円	13.3%		
R9	6.65%	37,600	2.39%	14,200	2.21%	15,300	0.35%	2,259	11.60%	69,359	2,716,420千円	514,607千円	8.9%		
R10	6.85%	39,900	2.55%	15,300	2.34%	16,400	0.48%	3,011	12.22%	74,611	2,955,113千円	753,300千円	8.8%		
R12	7.05%	42,200	2.71%	16,400	2.47%	17,500	0.47%	3,011	12.70%	79,111	3,157,154千円	955,341千円	6.8%		
R14	7.25%	44,500	2.87%	17,500	2.60%	18,600	0.46%	3,011	13.18%	83,611	3,359,195千円	1,157,382千円	6.4%		
R16	7.45%	46,800	3.03%	18,600	2.73%	19,700	0.45%	3,011	13.66%	88,111	3,561,094千円	1,359,281千円	6.0%		
R8 (仮) 都標準税率	7.45%	46,421	3.00%	18,574	2.69%	19,667	0.28%	1,883	13.42%	86,545					

改定パターン2

年度	区分等	医療分		支援金分		介護分		子ども分		計		各年度当初予算 調定見込額	現行税率との差	改定率
		所得割	均等割	所得割	均等割	所得割	均等割	所得割	均等割	所得割	均等割			
	(現行税率)	6.25%	33,000	2.07%	12,000	1.95%	13,100			10.27%	58,100	2,201,813千円	-	-
	R8	6.37%	34,400	2.17%	12,700	2.03%	13,800	0.28%	1,883	10.85%	62,783	2,416,411千円	214,598千円	9.7%
	R9	6.49%	35,800	2.27%	13,400	2.11%	14,500	0.35%	2,259	11.22%	65,959	2,559,126千円	357,313千円	5.9%
	R10	6.61%	37,200	2.37%	14,100	2.19%	15,200	0.48%	3,011	11.65%	69,511	2,719,173千円	517,360千円	6.3%
	R11	6.73%	38,600	2.47%	14,800	2.27%	15,900	0.47%	3,011	11.94%	72,311	2,843,703千円	641,890千円	4.6%
	R12	6.85%	40,000	2.57%	15,500	2.35%	16,600	0.47%	3,011	12.24%	75,111	2,968,376千円	766,563千円	4.4%
	R13	6.97%	41,400	2.67%	16,200	2.43%	17,300	0.47%	3,011	12.54%	77,911	3,092,906千円	891,093千円	4.2%
	R14	7.09%	42,800	2.77%	16,900	2.51%	18,000	0.46%	3,011	12.83%	80,711	3,217,579千円	1,015,766千円	4.0%
	R15	7.21%	44,200	2.87%	17,600	2.59%	18,700	0.46%	3,011	13.13%	83,511	3,342,110千円	1,140,297千円	3.9%
	R16	7.33%	45,600	2.97%	18,300	2.67%	19,400	0.45%	3,011	13.42%	86,311	3,466,640千円	1,264,827千円	3.7%
	R17	7.45%	47,000	3.07%	19,000	2.75%	20,100	0.45%	3,011	13.72%	89,111	3,590,034千円	1,388,221千円	3.6%
	R8 (仮) 都標準税率	7.45%	46,421	3.00%	18,574	2.69%	19,667	0.28%	1,883	13.42%	86,545			

改定パターン3

区分等 年度	医療分		支援金分		介護分		子ども分		計		各年度当初予算 調定見込額	現行税率との差	改定率
	所得割	均等割	所得割	均等割	所得割	均等割	所得割	均等割	所得割	均等割			
(現行税率)	6.25%	33,000	2.07%	12,000	1.95%	13,100			10.27%	58,100	2,201,813千円	-	-
R8	6.37%	34,400	2.17%	12,700	2.03%	13,800	0.28%	1,883	10.85%	62,783	2,416,411千円	214,598千円	9.7%
R9	6.49%	35,800	2.27%	13,400	2.11%	14,500	0.35%	2,259	11.22%	65,959	2,559,126千円	357,313千円	5.9%
R10	6.61%	37,200	2.37%	14,100	2.19%	15,200	0.48%	3,011	11.65%	69,511	2,719,173千円	517,360千円	6.3%
R12	6.89%	40,300	2.58%	15,600	2.35%	16,700	0.47%	3,011	12.29%	75,611	2,992,674千円	790,861千円	10.1%
R14	7.17%	43,400	2.79%	17,100	2.51%	18,200	0.46%	3,011	12.93%	81,711	3,266,175千円	1,064,362千円	9.1%
R16	7.45%	46,500	3.00%	18,600	2.69%	19,700	0.45%	3,011	13.59%	87,811	3,541,525千円	1,339,712千円	8.4%
R8 (仮) 都標準税率	7.45%	46,421	3.00%	18,574	2.69%	19,667	0.28%	1,883	13.42%	86,545			

パターンごとのメリット・デメリット

	メリット	デメリット
パターン1	<ul style="list-style-type: none">赤字解消に早めに近づく後半での調整が可能	<ul style="list-style-type: none">一回あたり（特に前半）の改定幅が大きい
パターン2	<ul style="list-style-type: none">一回あたりの改定幅が小さい	<ul style="list-style-type: none">毎年改定されることの心理的な負担が大きい後半にしわ寄せとなる可能性あり
パターン3	<ul style="list-style-type: none">当初3年間の改定幅を低めに抑えられる毎回の改定幅が均等になる	<ul style="list-style-type: none">後半にしわ寄せとなる可能性あり

今後のスケジュール

